

## 今日までありがとう 『金管バンド6年生感謝の会』

19日（火）朝の活動の時間に『金管バンド6年生感謝の会』がありました。新部長高澤 楓香さんから今日までの6年生への感謝の気持ちや、活動を引き継ぐ決意の発表がありました。次に、5年生の皆さんから6年生一人ひとりに感謝の気持ちを伝える色紙が手渡されました。続いて、各パートリーダーを務めた6年生から、思い出の発表がありました。それは、5年生が新たに加わり、新体制で活動を開始した際に、6年生から5年生に「新曲」を教え伝えた場面の事を思い起こして話す子が多く、うまくいった経験もさることながら、そのときに苦労した思い出もたくさん語られました。本当に尊い経験をさせてもらっていることをあらためて感じました。

顧問の中島先生からも、全く楽器が鳴らなかった

最初の頃のこ  
と、学習発表会

（2月参観日）で「金管」の発表にチャレンジしたこと、そこから今年のすばらしい演奏へと高めてきた6年生の皆さんの歩みとともに、「もう一生ないであろう、この麻績小の仲間と演奏できたことを心に刻んで歩いてほしい」というメッセージが伝えられました。6年生からサ

プライズで中島先生に感謝の気持ちを記した作文が贈られ、中島先生が涙ぐまれる場面もありました。切なさ一杯、そして温かい感動一杯にもさせていただきました。6年生の皆さん、本当に今日までありがとう。すばらしい6年生の姿を示してくれました。

## 楽器にも感謝

5、6校時には、今までお世話になった楽器に感謝を込めて、『金管楽器洗い』をしました。専門の方から、分解の手順や洗い方の指導を受け、実際に自分たちで楽器洗いに取り組みました。小さなパ



ーツまで、友だちのものと間違わぬように、隅々まで丁寧に、と手を動かす姿に、1年間ともにがんばってきた「相棒」を磨き上げて、次にその楽器を使う友だちにも気持ちよく使ってもらえるように、という気持ちが表れていました。6年生にとっては楽器とのお別れ、やはり寂しいですね。

## 人権なかよし月間『麻績カルタ大会』



「なかよしグループ活動」として児童会主催の「麻績カルタ大会」が開かれました（20日）。1年生から6年生が同じカルタに取り組むということで、「高学年の人は、詠み手が読み終えてから心の中で5秒数えてから札を取ってください」といった微笑ましいルールが伝えられ、そのおかげでどのグループからも笑い声が絶えませんでした。ルールにハンデがあるからなの

か、手加減なしに全力で取りに行く子ども、一步退いて小さな子が札を採れるようにしたり、譲ったりする子ども。どちらもそれぞれの良さが感じられて、この「なかよし月間」の機会にふさわしい「カルタ大会」であったと思いました。基本的に優しい子たちなのです。

## お疲れ様「卒業記念品移動黒板」

体育館で使わせていただいていた移動黒板が壊れてしまいました。黒板の裏表を切り替えるためのフレームのゆがみがひどくなってきていて、動かす度に「誰かが指を挟むことがなければいいが…」と心配する状況でした。とうとうフレームが黒板を支えきれなくなりました。

でも、黒板部分については、今後も活用できそうです（移動が今までのようにはいきませんので、据え置きですが）。

フレームには、「贈 平成七年度卒業生一同」と記されていました。今はもうしなくなりましたが、当時は卒業の際に学校に記念品を残していただくことが行われていて、この黒板も、そういう大切な記念品でした。



贈  
平成七年度卒業生一同

お陰様で、本当によく使わせていただいた品物でした。平成七年度卒業生の皆様にあらためて御礼を申し上げ、報告とさせていただきます。